

鳥は急には止まれない!!!

～衝突を減らすために～

キジバトの衝突痕

バードストライクとは

鳥が自動車や窓ガラス、ビルなどの構造物にぶつかる事故のことを「バードストライク」または「衝突」と呼びます。

衝突は救護原因の上位!

私たち野生動物救護の会が活動拠点としている神奈川県自然環境保全センターには、さまざまな野生動物が怪我や病気により保護されてきます。その中でも衝突は全救護原因の2割を占めます。

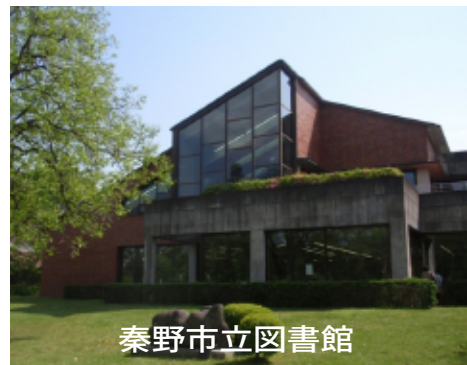


衝突により保護されたオオタカ

保全センターには衝突により野生に戻れなくなった鳥たちが多数飼育されています。

衝突の実態

私たち野生動物救護の会では、神奈川県にある秦野市立図書館の協力を得て、窓ガラスに鳥が「衝突」して付いた痕を確認する衝突調査を毎月実施しています。



秦野市立図書館

図書館は大変景観が良く、北側には目の前に芝生の土地が広がり、遠くに丹沢の山々を一面に見ることができます。

しかし、これを外から見てみると、まるで鏡のように窓に景色が反射して、鳥は窓に気付かずにそのまま通り抜けようとして激突してしまうのです。

衝突痕だけを残してその場からいなくなってしまう鳥がほとんどです。軽い衝突ならそのまま生き延びられる鳥もいますが、中には死亡してしまう鳥もいます。

若鳥の衝突が多い?!

2009年4月から衝突調査を継続して行った結果5～7月に特に多く発生し、死因が衝突だと推測され回収できた4個体のうち3個体が若鳥でした。これらのことから、巣立って間もないまだ社会経験の浅い若鳥の窓ガラスへの衝突が多いのではないかと推測されます。



映り込んだ風景に埋もれてしまっている

こんなところにステッカーが!!

(屋内から貼られています)

ステッカーの効果は貼り方次第?

「衝突」を防ぐ対策として一般的に広く使われているのが猛禽類をかたどったステッカーです。でもただ単にステッカーを貼ればよいという訳ではないようです。試しにラミネート加工を施された窓の内側に貼ってみましたが、外から見ると全く目立ちません。これでは効果がありません…。貼り方にも工夫が必要かも?!

今後の目標

身近に多く残る問題であるのに、未だに実証されていない有効な衝突の対策法…。私たちは今後鳥たちとうまく共生していくために、昨年度1年間継続して行ってきた実態調査を元に、図書館の景観を極端に損なうことなく、衝突防止に効果があるベストの方法を模索検討していきます!!

1羽でも多くの命を守るため、私たちは現在衝突の情報収集をしています。
家にこんな鳥がぶつかった、こんな対策をしたら衝突が減った等、情報提供お願いします!!



連絡先: NPO法人 野生動物救護の会
〒259-1306 神奈川県秦野市戸川1086番地の4
☎ 0463-75-1830
wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp